

第1回 公開シンポジウム参加者アンケート結果

第1回 公開シンポジウム参加者を調査対象としてアンケート調査を行った。

【実施年月】 平成27年9月4日(金) シンポジウム実施時間中(13:30~17:00)

【実施対象】 アンケート配布数：86名

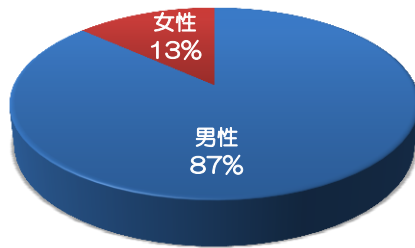
有効回答数：60

有効回答率：69.7%

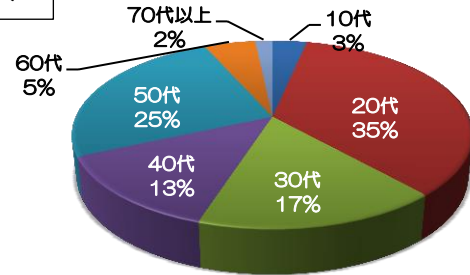
【調査結果】

<属性>

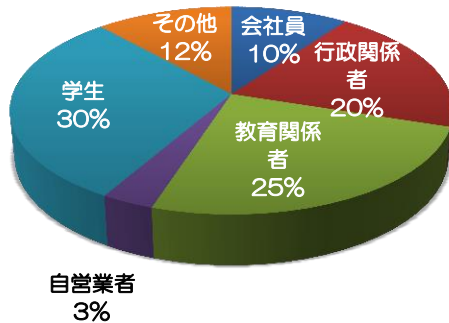
性別



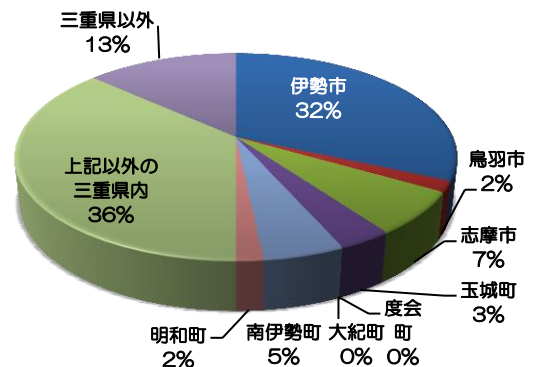
年代



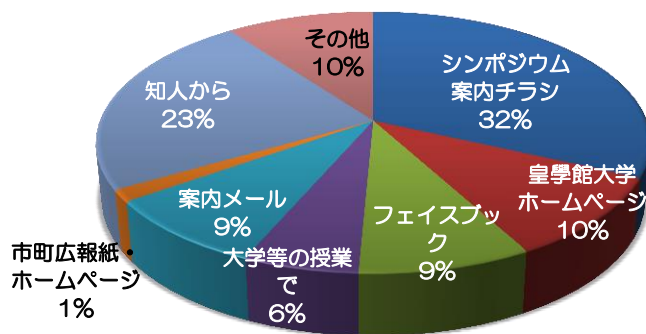
職業



居住地



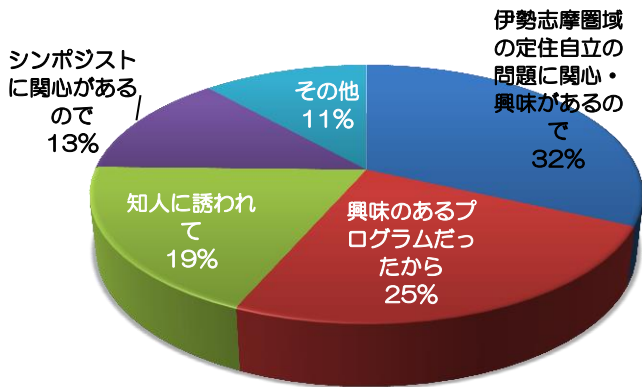
1. 今回のシンポジウムは何を通じてお知りになりましたか。(複数回答可)



<その他回答>

- ・本学教員を通じて(2)
- ・CLL活動を通じて。

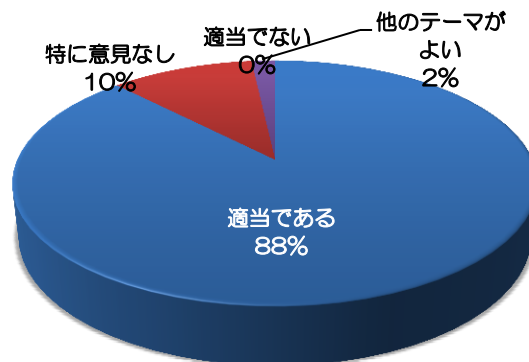
2. 今回のシンポジウムに参加された理由は何ですか(複数回答可)



<その他回答>

- ・研究室メンバーが出ている(2)
- ・同僚が登壇者なので。
- ・南部地域の市町職員が出るので。
- ・地域での取組をどう発信し、まとめれば良いか参考にしたかったため。
- ・同じCOC採択校として取組に興味があったので(2)
- ・学生と若者の意見に興味があったので。
- ・ダブルファシリテーターだったので。

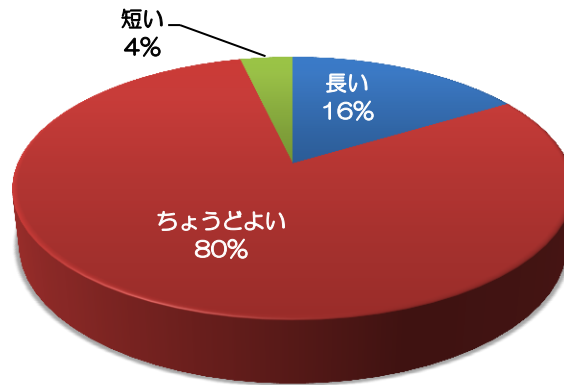
3. 今回のシンポジウムのテーマについていかがでしたか。よろしければ、その理由もお聞かせください。



<理由>

- ・地域活性化には一体何が必要なのかをよく話し合うことができた(2)
- ・考えやすかった。
- ・10年後、この地域に産婦人科がありますように。産まれなければ始まらない!
- ・登壇者が楽しそうで良かった(2)
- ・若い世代が地元の魅力について見つめなおす良い機会である(2)
- ・住(居場所)について多世代、立場を意識せず、掘り下げていく拡張性が魅力的だった。
- ・皇學館の視点が判った。
- ・プログラムがとてもデザインされていて大変良かった。
- ・未来について話し合ったから。世代が違う人が集まる場は必要。
- ・同年代の若い世代の率直な意見を聞いて参考になったから(3)
- ・旬の話題の「地方創生」とサミット開催決定を受けていいタイミングとテーマではないか(2)
- ・“住む”という視点
- ・地元のよさについて考えることができたから。
- ・これからの地方の課題に「みんなで考え合う」ということに特に若い視点でというテーマが素晴らしかった。
- ・高校生、大学生、行政の若者がこのテーマをどう考えるかを比較できておもしろかった。
- ・未来について語り合うことは心が豊かになるような気がする。
- ・自分たちが学生時代には考えたこともなかった「地元愛」的な思考を若者に考えてもらういい手法である。

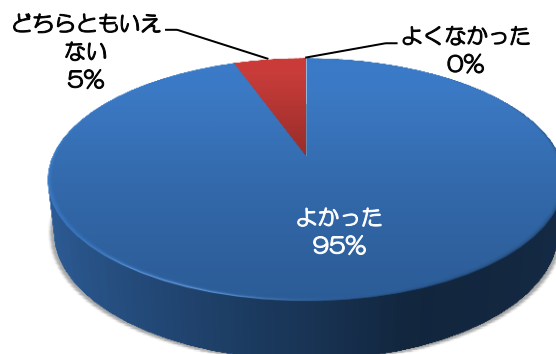
4. 今回のシンポジウムの時間についていかがでしたか。よろしければ、その理由もお聞かせください。



<理由>

- もっと深く話し合いをしたかった。
- このぐらいの長時間のシンポジウムの催しはいろいろな目新しい意見や話を聞いてよかった。
- あらかじめ3台の設問で進めることが示されていましたし、進行がとてもまとまっていたので、あまり長すぎず、短すぎず本当にちょうど良かったと思います。
- あっという間に時間が過ぎた。
- 肯定で進める視点がよく、Ⅲ部に感心した (2)
- もう少しトイレ休憩がほしい (3)

5. 今回のシンポジウムに参加していかがでしたか。よろしければ、その理由もお聞かせください。



<理由>

- たくさんの人の考えを聞くことができ、地元についてよく考えることができ、いい経験だったと思う (3)
- 自分の住んでいる地域の魅力について考えることができる良い機会だった。
- NHKの番組のようで面白かった。ファシリテーターの先生のテンポがよく、フロアと登壇でまとまっている感じが良かった。
- 通常の一方向的な発表と違い、広聴者も含めた参加型が見やすかった。
- 高校生の意見がとても前向きでしっかりしていて驚いた。
- さまざまな意見を聞くことが出来た (4)
- 堅苦しくなく、若々しさを感じた。

- 若い方のいろいろな視点からの意見があり、新たな気づきもあって素晴らしかったと思う。
- コメンテーターのコメントが良かった。進行がスムーズ。企画が良い。登壇者もよく準備できていた。
- 興味のある内容ではない。
- ターゲット層にあわせた日時設定、プログラム構築があればもっとよかった。
- 久しぶりに若い人の意見をいろいろ聞いてよかった。(4)
- もうちょっと硬いイメージで来たが、ファシリテーターのお二人のおしゃべりが上手く、聞きやすく参加しやすいイベントだった。(2)
- 世代の違う視点をみることができた。
- 皇學館大学の取組を知ることができた。
- 高校生、大学生、自治体若手職員という設定がよかった。
- 若い人たちの意見＝世代間交流につながっている。
- 次回はクリッカーを多用するか、フロアとの意見交換を増やすと良いと思う。
- 若い世代を高校生から社会人まで幅広くある目、丁寧に様々な意見を引き出して、まとめられたのは見事だった。フロアの意見の示し方も参考になった。
- とすれば、難しくなりがちなテーマだと思うが、とても判り易く、いろんな気づきがあるシンポジウムだったと思う。
- 機器を使った立体的な運営がよかった(初体験でした)。
- 新鮮でよかった。
- 地元が好きだという気持ちを皆持っているように感じた。
- 他地域から見た地元や三重県を知ることができ、自分の中に新たな価値観ができたと思う。
- 多様な見方がわかった。何もかも満たそうとするのは無理があるかもしれない。この地域として何を大事にしなければならないかへの焦点化が必要かと思った。

6. その他、今回のシンポジウムについてのご意見・ご要望や今後、定住自立に関することで取上げてほしいテーマがありましたら、記載してください。

＜意見・要望＞

- また、このような催しがあるとありがたいです！
- 何か結論を出すのではなく、ずっと同じテーマで開催し続けると面白いと思う。
- 地域で良い体験をし、良い思い出を残す、残してあげることが大切だと思う。
- 若者が定住するために具体的な方策を検討する場（何に取組めばいいのか、など）
- 問3の質問がとても良かった。市民などたくさんの人に来てもらいたいと思った。
- 今回でた意見を実現させていたなければならない。自己満足で終わらないように。
- ワークショップスタイルでガンガンいきましょう！
- 大変参考になった。
- 中学生も入れた意見交換、シンポジウムの場があってもいい。
- 学生さんが少ないのが残念（時期？）関係者が多いですね。PRの仕方を考えたいですね。
- 若い人たちがしっかりした考えを持っているのを頼もしく思った。
- 地域活性化に注目した県民および県外出身者の方々のシンポはどうでしょうか。
- 鈴木知事、鈴木伊勢市長に聞いてほしいシンポジウムだった。
- 学生間で自主的に考える姿勢を作る。学生間のディスカッション。
- テーマの中に「共に」や「暮らす」にもっと焦点を当ててみてもおもしろいと思う。
- 地元に住み続けるためには、地元を好きになること（地元愛）が必要。
- 外部の人（県外）も入れて、この地域の魅力をいろいろな視点から話し合っても面白いかも。